



横浜市立市民病院

# こころ。

第21号

2017.8 発行

横浜市立市民病院だより

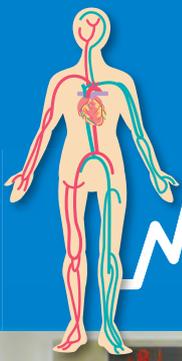


## Contents

### 特集 心臓血管センター

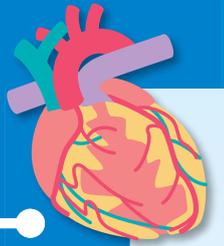
- お知らせ
- イベント紹介
- 市民病院再整備事業
- 登録医療機関をご紹介します
- おすすめレシピ「トマトのみそ汁」
- 病院長コラム

種名：ユーラシアカワウソ  
写真提供：公益財団法人 横浜市緑の協会



地味にすごい!!

# 心臓血管センター



## 充実した体制

皆さんこんにちは。当院勤務27年、心臓血管センター長（兼）循環器内科部長の根岸（上の写真後列左から3人目）です。今回は心臓血管センターの紹介をさせて頂きます。スタッフは循環器内科10人（10月より11人）、心臓血管外科3人の体制です。29年4月から「不整脈センター」が開設され、各種の頻脈性不整脈に対する「カテーテル焼灼術」を開始しました。10年前の内科3人、外科2人体制とは比較にならない程充実した医療提供体制が整ったと考えています。当院では心臓専門医が24時間院内に常駐する「CIC」当直体制」を組んでいます。また、28年秋から救急隊からの連絡を循環器専門医が直接受ける「心臓血管ホットライン」を開設し、「救命救急センター」を守る救急総合診療科との協力強化により、初期対応から他院とは一線を画した専門医集団による診療を提供しています。緊急治療を要する「急性冠症候群（急性心筋梗塞、不安定狭心症）」を年間150例程度受け入れていますが、（心肺停止後の搬入例を除いた）カテーテル治療施行例での死亡は直近5年で1例のみで国内でもトップレベルの救命率を維持しています。心肺停止後の搬入例にも9年前から積極的に脳低温療法を導入するこ

とで完全社会復帰率40%以上とこちらもトップレベルの救命率を維持しています。

## センターの特徴

心臓血管センターの特徴を一言でいうと「地味に凄い」です。冠動脈カテーテル治療のチームには治療歴30年の私を筆頭に、10年以上の経験有する術者が4人、在籍しており、緊急カテーテル治療の質を担保しています。また年間数例ではありますが麻酔科、手術室の全面的な協力を得て緊急冠動脈バイパスを施行しています。冠動脈カテーテル治療の症例数は年間300例程度と目立ちませんが、治療適応（必要性）を厳しく検討し不必要な治療を行





われない方針を遵守し、直近5年間の治療成功率は97%以上を維持しています。

心臓血管外科のない病院では施行できないロータブレーター（高速回転し、石灰化病変を削るダイヤモンドドリル）を年間30例以上で併用し確実な血管の拡張を得るよう心掛けています。ステント（拡張することが出来る網目状の小さな金属製の筒）留置に適さない病変、患者さんには薬剤溶出型バ

ルーンの使用により出血リスクの低減にも努めています。年度中に動脈硬化巣を削り取って体外に取り出す、方向性アテレクトミーも開始する予定で、病変の性状にあった最適の冠動脈カテーテル治療を提供できる体制となっています。内科と外科の風通しの良いことも当センターの特徴であり、緊急例を含めた冠動脈バイパス手術、バイパス術とカテーテル治療を併用するハイブリッド手術など（無理にカテーテル治療に拘わることなく）個々の患者さんに合わせて最良の治療選択肢を提供することが可能です。一度入院を経験された患者さんは症例数には現れない、地味な凄さを実感されたと思います。今後は更に症例数の増加にも努めて、数と質の両面で横浜市のリディングセンターを目指します。

私の専門が心不全・冠循環であり心不全に関して、徹底的に理論に基づいた管理を行うことで再入院の回避、入院期間の短縮を実現しています。人工呼吸器装着、昇圧剤・強心剤使用などの重症例でも平均の入院日数は7、10日程度です。QOLの維持・改善、突然死予防のために入院中から外来通院まで継続できる心臓大血管リハビリを29年度より開始しています。

内科側のマンパワーの充実もあり永久型ペースメーカーの植込み術を含めた植込み型デバイスの管理を外科から内科に移行しました。心機能に極力悪影響の少ないリード位置の選択、至適モードの選択まで従来以上の細かな管理を充実させていきます。

今年4月から開設された不整脈センターの福本センター長はJohns Hopkins University（ジョンズ・ホプキンス大学）に留学後、慶應義塾大学病院の不整脈チームで約10年間、主術者として約800例のカテーテル焼灼術を行ってきた経験豊富な術者です。7月19日時点で合計23人の患者さんに対し28個の不整脈を焼灼し、手術合併症はなく、全ての不整脈に対して初期成功を得ています。植込み型の心臓デバイスを含めて大学病院と同等レベルの不整脈治療を提供することができるようになりました。

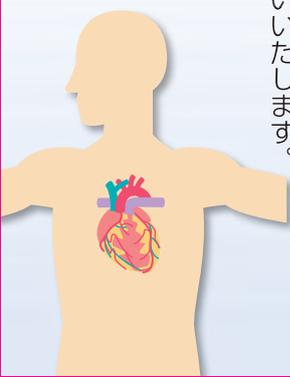
心臓血管外科では冠動脈バイパス術、弁置換・形成術、大動脈グラフト置換術、大動脈ステントグラフトなどの心臓大動脈疾患のみではなく、静脈系疾患にも積極的に取り組んでおり、下肢静脈瘤に対するレーザー治療が今年度中に開始となります。痛みが少なく、傷も残らないので有力な治療選択肢が増える

ることになります。より軽症例への治療適応拡大にもつながると考えます。静脈瘤で悩んでいる患者さんは気軽にご相談いただければ幸いです。

### 地域の病院です

地域の家庭医の先生方と協力して地域ぐるみで循環器疾患の治療・管理のレベルアップを行うために講演会等でも積極的に情報発信を行っています。昨年度は20回を超える講演会で座長、講演、コメントをさせて頂きました。機会があればホームページ等で内容の一部を公開していく予定です。

外来受診に関しては、緊急でない場合には紹介状を持参頂ければ優先的に診察をさせて頂きます。病態の急変による緊急受診時には紹介状は必ずしも必要ではありません。家庭医からは地域救急ホットライン、救急隊からは心臓血管ホットラインで緊急時の連絡を受け付けています。年に一回の定期検診時には一年間のエピソード、他疾患を含めた変化が分かるようにかかりつけの先生からの紹介状を持参して頂けると診察がスムーズに行えますのでよろしくお願いたします。



# 物忘れ外来を開始しました



お知らせ

高齢になると物忘れを自覚する方が多くなります。その多くは年齢相応の自然なものですが、「もしかすると認知症ではないか？」と、不安になる方のために「物忘れ外来」を始めました。また、運転免許更新等に伴う診断書の作成もこちらでお受けいたします。是非ご利用ください。

## 【実施日】

毎週木曜日午後  
(第2木曜日は休診)

- ① 14:00    ② 14:30
- ③ 15:00    ④ 15:30

## 【受診について】

- ① 認知症の診断に伴う受診：地域医療機関からの紹介状をお持ちの上、**市民病院予約センター（☎：045-341-5268）**へご連絡ください。
- ② 運転免許更新等に伴う受診：警察で行った認知機能検査の結果により、作成された「診断書提出命令書」あるいは「医師向けの依頼書」をお持ちのうえ、**市民病院予約センター（☎：045-341-5268）**へご連絡ください。

# 12か国語対応の通訳ツールを導入しています

お知らせ

市民病院では、タブレット端末を用いた通訳システムを導入しています。これは通訳者をタブレット端末で呼び出し、テレビ電話を利用してリアルタイムで通訳を行うものです。日本語が話せず、通訳者がいない外国人患者さんでも、日常会話程度となりますが、受付会計や外来病棟で案内することができます（なお、タブレット端末の使用状況、電波の状況によっては利用できないことがあります）。

- 対応言語：英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語・ベトナム語・フィリピン語・タイ語・フランス語・ネパール語・インド語・ロシア語



救急隊との

# 救急ホットライン

を開設しました

お知らせ

心臓血管疾患や脳卒中は、発症後にできるだけ早く治療を開始することが重要です。当院では、これら緊急を要する疾患に対し、一刻も早く治療を開始するために、救急隊とのホットライン（直通電話）を開設しました。救急隊からの受け入れ要請を直接担当医が受けることにより、より迅速な受け入れを進めています。



心臓血管ホットライン

平成28年9月より開始



脳卒中ホットライン

平成29年4月より開始



# 朝のあいさつ・ 清掃活動 を実施しています



当院では、患者さん、ご家族の気持ちに寄り添った「おもてなし」を職員自らが考えて行動することによって、患者さん・ご家族の満足度を高め、ホスピタリティの向上を目指しています。



その取組の一環として、毎月第1・3水曜日の就業前の朝8時より、院内職員による朝のあいさつ・清掃活動を実施しています。正面玄関から三ツ沢公園周辺、がん検診センター玄関周辺の清掃を行っているほか、正面玄関前では、来院された患者さんをあいさつでお迎えしています。

今後も職員一丸となり、質の高いサービスの提供に努めてまいりますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



## イ ベ ン ト 紹 介

### 「一日メディカルパーク2017」 を開催しました

例年大好評をいただいています「一日メディカルパーク 2017」を7月29日（土）に開催しました。今年も全国の小中高生から多くの応募をいただきました。当日は抽選で選ばれた小中高生の参加者の他、見学者を含めると約500人の方に、病院内の各ブースをまわっていただきました。

「とても勉強になることばかりでとても楽しかった」「いろいろと見たり、体験できて面白かった」「前よりも医療に興味を持てました」など、医療の現場で貴重な体験を楽しんでいただけたようです。

ありがとうございました！



## ● 市民病院再整備事業の進捗報告 ●

### 診療棟建物の建設工事が始まります

再整備事業については、28年度末に実施設計が完了し、29年8月末に民有地建物（古川電気社宅）の解体工事を終え、9月からは新病院診療棟の建設工事が始まる予定です。

8月4日（金）、5日（土）には、建設工事に先立ち、新病院計画地の周辺にお住いの方を対象とした工事説明会を開催し、工事期間、作業方法、近隣家屋への影響や工事車両の通行などについてご説明しました。

これまでいただいていたご意見も踏まえながら周辺環境に十分配慮し工事を進めていきますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



＜新病院完成予想図＞  
（病院正面から見た新病院）

※現段階のイメージであり、計画を変更することがあります。

### ◆再整備事業スケジュール（予定）

事業年度	28年度 (2016年度)	29年度 (2017年度)	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)
実施内容	<p>実施設計</p> <p>●住民説明会 ●都市計画決定</p>	<p>工事発注手続</p>	<p>新病院建設工事等</p> <p>●工事説明会（8月）</p>		<p>開院</p> <p>●跡地整備</p>

## 新しい市民病院の主な特徴

### その1 外来待ち時間の負担を軽減

カフェ、レストラン等で診察の待ち状況がわかるようにするとともに、自動精算機の導入等によりスムーズな会計運用を行います。



～外来イメージ～

### その2 入院時の療養環境を向上

多床室（大部屋）は4床室を基本とし、個室の数を増室するなど、安全で良好な療養環境を整備します。



～多床室イメージ～

～個室イメージ～



市民病院再整備事業のWEB ページへは

横浜市立市民病院 再整備 で 検索 またはQRコード読み取り▶



神奈川県

## 伊藤整形外科



院長 岡田 周介先生 (前列右)  
とスタッフの方々

【診療科目】

整形外科

リハビリテーション科

当院は昭和 62 年に開院し、地域の皆様に密着した医療を提供してきました。良い医療を行うことにより、信頼される診療所であり続け、地域社会に貢献したいと考えています。そのために、患者さんの訴えをよく聞き、丁寧に診察した後にわかりやすい説明を行うことで、納得・安心して治療を受けていただけるように心がけています。特に理学療法(リハビリ)については常勤の理学療法士が質の高い治療を提供しています。また、市民病院をはじめとする、近隣の病院との病診連携を密にすることで患者さんのスムーズな紹介・逆紹介を行っています。



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
14:30～18:00	○	○	○	○	○	—
13:00～14:30	—	—	—	—	—	○

休診日：日曜日・祝日

〒221-0865  
横浜市神奈川区片倉 5-1-1  
ARビル 2F  
TEL：045-481-2330  
URL：http://www.itoseikei.jp/

神奈川県

## 布川内科医院



院長 布川慎一郎先生 (前列右から2人目)  
副院長 布川 道世先生 (前列左から2人目)  
とスタッフの方々

【診療科目】

内科 呼吸器科

消化器科 循環器科

放射線科

横浜は三ツ沢に開院したのが昭和 40(1965)年。市民病院までは徒歩 12 分の距離ですが、当時周りは田んぼや畑だらけ。そんな時代から市民病院と向き合う形で、診療してまいりました。院長、副院長 2 人とも以前市民病院での勤務歴があり、現在は内科、循環器科を専門としておりますが、その他に生活習慣病の方も多く、朝はちょっと早めの 8 時半からの診療時間で、通勤、通学前に受診する方、開業 50 年余りで親子 3 代でいらっしゃる方もおられます。今後も市民病院との連携と共に、地域に根付いたアットホームな診療を心がけていきたいと考えております。



診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30～12:00	○	○	—	○	○	○
13:30～15:00	○	○	—	○	○	○
17:00～19:30	○	—	—	○	—	—

休診日：水曜日・日曜日・祝日

〒221-0856  
横浜市神奈川区三ツ沢上町 12-20  
TEL：045-321-7500

## 夏のおすすめレシピ

煮ても焼いても、生でも美味しい! トマト

# トマトのみそ汁

1人当たり栄養量

熱量42kcal、タンパク質2.3g、脂質0.8g、塩分1.5g

代表的な夏野菜のトマトは、旨味成分のグルタミン酸が多く、リコピンという抗酸化作用成分も豊富。

店頭に多く並び、家庭菜園でもたくさん収穫できるこの時期、ぜひ色々な料理で食べてみてくださいね。

また、昆布や煮干しなどのだしは“水出し”で作ると火を使わずにすみ手軽です。お試しください。

暑い時は  
冷やして食べても  
おいしいです



### 【作り方】

- ① トマトはくし形に切る。ナスは焼きナス\*\*にして、一口大に切る。
- ② 煮干し出汁\*を鍋に入れて①を入れ軽く煮る。
- ③ ②に味噌を溶き入れ火を止め器によそい、みょうがの薄切りをのせる。

### 【材料】 2人分

トマト…………… 1個 (約150g)  
 ナス…………… 小1本 (約60g)  
 煮干し…………… 4本 (煮干し出汁\* 2杯分)  
 みそ大さじ…………… 1⅓杯 (24g)  
 みょうが…………… 2本

### \*水出し煮干し出汁の作り方

煮干しを水に入れ一晩冷蔵庫で寝かせる。(煮干しは、頭と内臓を除き、味噌汁に入れてもよいです。)



### \*\*焼きナスの作り方

1. ナスは皮をむきやすいようにヘタのまわり1周と、縦方向に数本浅い切れ目を入れる。
  2. グリルで両面しっかり焼く。
  3. 2を冷水にとり皮をむく。
- (焼きナスは冷凍品を使用してもよい)



(栄養部 管理栄養士 井尻 玲子)

## 耳寄り情報!

ホームページでも健康レシピを掲載しています!

横浜の名店シェフと市民病院がコラボして、プロの料理を家庭でも作りやすいように、わかりやすく紹介しています。あわせて栄養士のアドバイスとシェフのコラムも掲載しています。是非ご覧ください。

アクセス方法：<http://yokohama-shiminhosp.jp/introduction/recipe.html>  
 もしくは、「横浜市立市民病院」→「病院のご紹介」→「健康レシピ」



## 病院長 コラム



病院長 石原 淳

市民病院再整備事業につきましては、建設地周辺にお住いの皆様のご理解、ご協力のもと、ほぼ計画通りのスケジュールで9月には診療棟の建設工事に着工する予定です。

新病院は、より一層高度急性期に対応できる体制となりますが、一方で、現在別棟にあり場所が分かりづらい「がん検診センター」についても病院1階に場所を移し、来院から検査終了まで分かりやすく無駄のない導線として、より多くの市民の方々に精度の高い検診を受けていただけるよう計画しています。日頃健康に自信のあるかたも是非がん検診をお受け下さい。

暑い日が続いています。体調管理に充分留意して毎日をお過ごし下さい。

横浜市立  
市民病院

診療  
受付

月曜日から金曜日(土曜日、日曜日、祝日及び年末年始は休診)  
 ○初診の方 午前8:30~11:00(診療開始8:45)  
 ○再診の方 午前7:30~11:00(診療開始8:45)

※市民病院は原則、初診紹介制となっております。他の医療機関からの紹介状をお持ちください。

〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町56番地 ☎045-331-1961(代)

編集発行：横浜市立市民病院 広報委員会



- 平日日中  
原則、救急車で搬送された患者さんのみ受入れを行っています。
- 夜間・休日  
必ずお電話にて連絡の上ご来院ください。